

令和6年6月3日

守谷市議会議長 殿

報告者 滝川 竜雅 印

守谷市議会議員視察・研修報告

標記の件について、次のとおり 参加 したので報告します。

視察・研修日	令和6年5月20日（月）
視察・研修場所	愛知県豊田市
視察・研修項目	スマートインターチェンジ開設に伴う周辺地域の整備について
参加者	守谷市側 ・守谷市議会 梶岡 香織、椎名 愛子、滝川 竜雅、菊地 詩子、 小菅 勝彦、海老原 博幸、田中 啓一、山本 広行、 渡辺 大士、堤 茂信、高梨 隆、渡辺 秀一、 長谷川 信市、山田 美枝子、寺田 文彦、 高梨 恭子、高橋 典久、梅木 伸治 ・副市長 宮坂 広志 ・議会事務局 局長 川村 和彦、 局長補佐 高橋 哲也、主任 和久田 智也
	相手側 ・豊田市議会 議長：羽根田 利明 議会事務局：総務課 曾我部 ・豊田市 建設部 幹線道路推進課 小島課長、 小出副課長、山本担当長、岡本技師 ※敬称略
視察・研修目的	守谷 SA スマートインターチェンジ計画に伴い、令和3年3月27日に開通された豊田上郷スマートインターチェンジについて周辺地域の整備状況の視察を行う。
視察・研修内容	豊田上郷スマートインターチェンジについて

<p>視察・研修総括 (今後の取組み 等)</p>	<p>守谷市では、令和 5 年 9 月 8 日に、常磐自動車道守谷サービスエリアがスマートインターチェンジの準備段階調査着手箇所にて採択され、近くにはアサヒビール、明治乳業の工場が立地しており、2027 年 1 月にはヤクルトスワローズファーム施設が完成予定となっている。</p> <p>スマートインターチェンジの整備により、高速道路へのアクセス性の向上、地域産業の活性化、新たな企業誘致、救急医療活動の支援など様々な整備効果を期待する。</p>
--	---

<p>視察・研修内容</p>
<p>●豊田市概要 面積：918.32k m² 人口：422,225 人 世帯数：182,282 世帯 人口密度：459.8 人/k m² ※東洋経済新報社 都市データパック 2022 版より</p> <p>●豊田上郷スマートインターチェンジ設置による整備効果</p> <p>(1) 日本経済を支える自動車産業の拠点地における活動支援</p> <p>①輸送時間の短縮 高速へのアクセス時間が短縮され、目的地までの輸送にかかる時間が短縮</p> <p>②輸送経路の効率化による物流コストの削減</p> <p>③リダンダンシーの確保 代替輸送ルート（リダンダンシー）の確保により、産業活動の強固な地盤を確保し、産業・経済を支援</p> <p>(2) 豊田 IC 周辺道路の交通分散による渋滞緩和 工場を発着する交通が豊田上郷 SIC 方面へ分散するなど、周辺道路の渋滞緩和に寄与</p> <p>(3) 政府選定「環境モデル都市」としての低炭素社会実現への寄与</p> <p>(4) 高速道路の利便性向上による救急医療体制の充実 上郷周辺から、第 3 次救急医療施設までの輸送時間が短縮</p> <p>(5) 緊急活動における広域防災拠点機能の向上</p> <p>2021 年 3 月に豊田上郷スマートインターチェンジの開通に伴い、名称が『豊田上郷 S A』に変更となる。</p>

●質疑応答

Q. スマートインターチェンジが開通した以降に新たに発生した問題は？

A. SIC の動線について、SIC を利用すると SA を利用できないことなどが上下線で異なる状況がわかりにくい。

SIC を利用するに際して、SA 駐車場を通過しなければならない構造となっており、大型車運転者にとっては安全上負担になる。

期待する物流事業所が未利用であること。

Q. 地域住民の利便向上の観点から、スマートインターチェンジの開通後、市民からどのような評価を得ているのか。

A. 豊田上郷スマート IC の整備により、インターチェンジへ 10 分以内に到達可能な市民の割合が 54.8%から 67%に増えており、令和 5 年に実施した市民意識調査でも「生活や産業を支える道路が整っている」に関する満足度が高い。

Q. スマートインター開設後において、既存産業のほかに新たな産業の創出や新規事業者の進出はあったのか（あった場合には、どのような取組により成果が得られたのか）

A. 上郷 SIC 周辺で物流施設の進出などを把握している。

これは、総合計画において、産業誘導拠点として位置づけ、開発可能な条件の一つとして設けたことが影響したと考えている。

Q. 既存道路（県道・市道）との連結について、どのような課題があったか。

A. 安全対策に関する関係機関協議や用地買収の遅れに伴い、供用開始時期の延伸が起こった。